

2025.10.2

牛久市 新ブランドメッセージ宣言

親子特区!!うしく

発表スライド

令和7年10月定例記者会見

USHIKU

「親子特区!!うしく」はじまります

牛久市は「抜きんでて住みたいまち」を目指し、子育て世帯を中心とした移住・定住を促す新たなブランディングをスタートします。そのブランドメッセージが「親子特区!!うしく」です。

※「親子特区」は、法令に基づく特区制度ではなく、牛久市が目指すまちの姿を象徴的に示したブランドメッセージです。



牛久市

新ブランドメッセージ宣言

OUR NEW BRAND MESSAGE

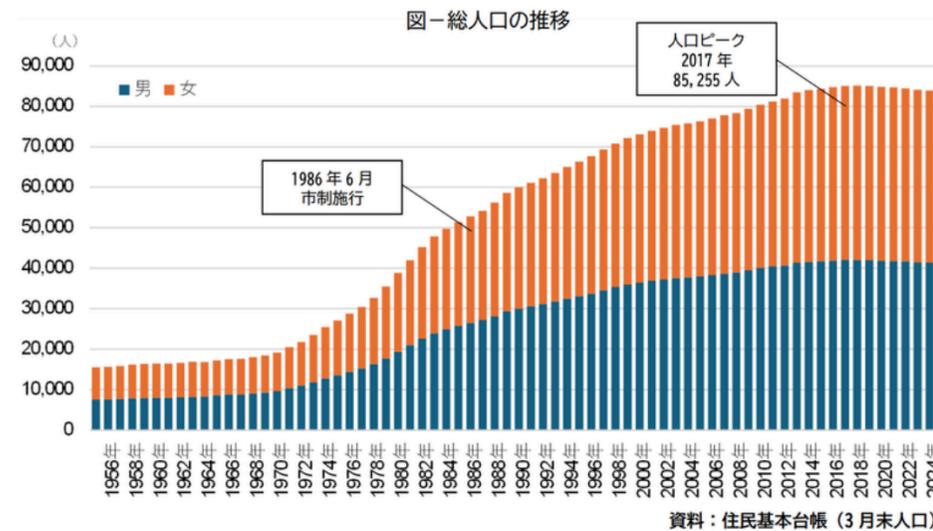
競争が進む子育て支援、牛久の強みを生かした差別化が必要

—— 周辺との差別化が課題 近隣自治体で子育て世帯移住に向けた競争が進展



「牛久市ならではの強みと価値」を示すことで周辺市町との違いを明確化

・子育て世帯移住の歴史と共にあるまちづくり



・「自然観察の森」に代表される豊かな自然



・子育て世帯や市民活動を応援する行政施策の数々

子育て支援施策

- ・未就学児の医療費無償化
- ・学校給食費無償化（中学校）
- ・子育て広場
(すくすく広場・のびのび広場
・にこにこ広場、出張広場)
- ・子育てサロン
- ・ファミリーサポートセンター事業
- ・保幼小連携
- ・幼児2人同乗用自転車購入費補助
- ・ママと赤ちゃんのほっと・すぺーす
- ・移動式ほっと・すぺーすの貸出
- ・牛久市子育てガイド&ひとり親応援
ポケットガイド
- ・奨学金制度・就学援助制度

コミュニティ支援施策

- ・たまり場補助金
- ・行政区運営費補助金
- ・集会所の建築等に関する補助金
- ・牛久市民号
- ・地区社会福祉協議会

親子に関わる青少年施策

- ・うしく鯉まつりイベント
- ・ふれあいキャンプ
- ・親子ふれあい教室
- ・親子ふれあい映画鑑賞会

牛久市の強み（歴史・環境・行政施策）を「親子」と紐付け
「親子政策が充実したまち」という新たな独自性を打ち出す

〈 親子がともに育ち合えるまち 〉

親向けでも子ども向けでもなく
「親子」のつながりを中心に据えた施策を推進

親が対象



親子が対象



子が対象



この時代に『親子であること』は大きな挑戦。

だからこそ牛久市は“親子がともに育ち合えるまち”を目指します。

利便性や価格訴求だけではなく、親子の思い出や心の豊かさを育むまちへ



シンボルに込めた想いと特徴

- 親子の毎日は、驚きと発見の連続
 - └ その喜びを「！」から生まれた“怪獣の親子”が象徴
- 親子がともに成長し、思い出を積み重ねる姿を、ユーモラスで温かく表現
- 市報やまちなかなど、多様な場面で活用し、シンボルとして定着を図る

▶ 仕組みづくりで親子を支える

① 親子のため課（11月1日設置予定）

市役所内に親子施策の司令塔を設置

「親子特区!!うしく」の取り組みを推進する専門組織を設置

課長級職員1名を中心に、専任・併任を含めた計4名程度の体制でスタート

② 親子みらいポスト（12月以降設置予定）

親子や市民の声を施策に反映

オンラインで親子や市民の声を収集

実現可能な意見は、『親子のため課』を中心として施策化を検討

▶ 親子の交流を育む

③ 親子ひろばプロジェクト

親子のふれあいイベントを充実

これまでの親子向けイベントを“親子特区の取り組み”として束ねて効果的に情報発信するほか、新たな親子イベントを検討

『親子ひろばプロジェクト』としてSNSで情報発信

親子施策やイベント情報を発信する公式Instagramを開設(11月以降)

④ お祝いボトル贈呈プロジェクト

出生記念品で親子の歩み出しを祝福

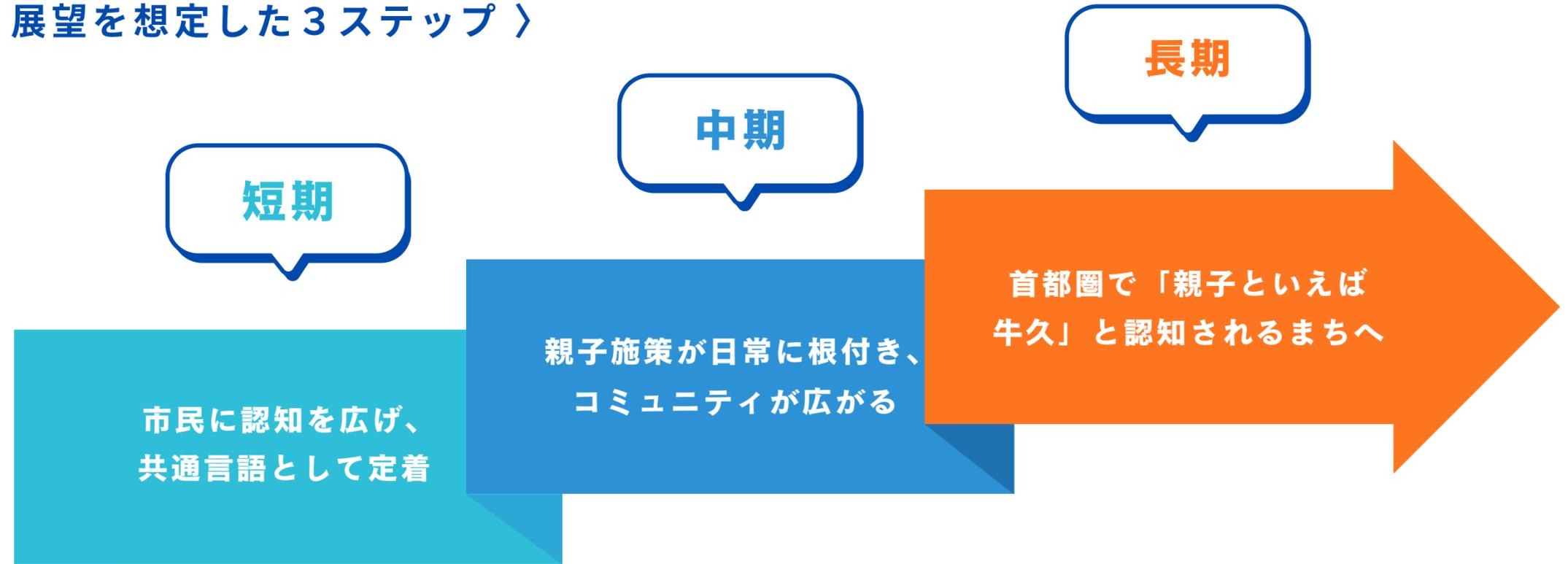
※11月初旬にプロジェクト詳細発表

その年の牛久市生まれのお子さま対象

お子さまの名前や写真入りの「世界にひとつだけの記念ボトル」を贈呈

申込制。牛久シャトー産のワインまたはノンアル飲料を選択可

〈 展望を想定した3ステップ 〉



2027年以降、本格的な宅地分譲が見込まれる
ひたち野うしく北部地区（東獺穴土地区画整理事業）等の
新たな宅地開発を見据えた展開